

安心で身近な「恵那の食」づくり

■ 水稻（種子）・採種組合 恵那市三郷町での水稻優良種子の確保に向けた生産支援

恵那市三郷町は、県全体の水稻採種圃の4割を占める県下最大の種子生産拠点で、三郷米麦採種生産組合（51戸）により県内稲作農家が使用する種子約250tを毎年生産している。中でもあきたこまちは100%、コシヒカリは96%の生産シェアを誇り、高品質な種子の安定供給を通じて、県内稲作を支えている。



【ほ場審査の様子】

農業普及課では、本年度も春以降、JAと採種組合等と連携し、育苗指導に始まり、田植え以降の水田ほ場巡回による生育確認や管理指導、栽培講習会での講義などを行ってきた。特に7月下旬から8月下旬にかけては、全約570ほ場を各2回ずつ巡回観察し、異品種・異株や病害虫・雑草の発生有無などを確認し栽培管理の改善を促すほ場審査・指導を実施した。

今年産は、夏季高温に伴う水確保、生育前進に伴う防除・収穫時期の早まりなど、栽培管理が難しい年になったが、審査基準を満たす優良な種子が必要量確保できる見通しである。

今後も農業普及課では、種子の安定生産に向けた個別農家の栽培管理指導はもとより、将来にわたって持続的に採種組合が優良種子生産を行っていけるよう支援を行っていく。

（地域支援係）